

第 2 1 回 八代地域審議会会議録

開催日時	平成 2 4 年 3 月 2 9 日 (木) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 4 0
開催場所	八代市役所 5 階 大会議室 A

■ 出席委員

会 長	徳田 武治	委員	岡山 誠	委 員	濱 大八郎
副会長	山中 タミ子	”	古閑 啓子	”	濱田 律子
委員	稲村 芳文	”	西尾 静子	”	宮田 康治
”	大林 凌	”	西濱 昭則		

■ 欠席委員

--	--	--	--	--	--

■ 市出席者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
企画戦略部長	永原 辰秋	市民活動支援課長	辻本 士誠
企画政策課長	丸山 智子	市民活動支援課主査	井戸 康雄
企画政策課課長補佐	谷脇 信博		
企画政策課企画係長	相澤 誠		
企画政策課主事	坂本 友和		

■ その他の出席

役 職	氏 名	役 職	氏 名

■ 傍聴者

一般傍聴者		0 名	報道機関		1 名
-------	--	-----	------	--	-----

■ 協議事項

<p><議題></p> <p>(1) 合併効果の検証について【資料 1-1、1-2】(企画政策課)</p> <p><報告事項></p> <p>(1) 市民アンケートの結果について【資料 2-1、2-2】(企画政策課)</p> <p>(2) 住民自治によるまちづくりの推進について【資料 3】(市民活動支援課)</p> <p>(3) 平成 2 4 年度八代市主要事業について【資料 4】(企画政策課)</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 4 年度地域審議会の開催について 【資料 5】(企画政策課) ・各地域審議会の開催状況について 【資料 6】(企画政策課)

■議事録

1. 開会

<事務局>

委員11名、全員出席ということで、委員の2分の1以上の出席を得ており、地域審議会の設置に関する事項の第7条第3項により、本日の審議会が成立することを報告。

2. 挨拶

企画戦略部 永原部長挨拶

徳田会長挨拶

3. 議題

(1) 合併効果の検証について

～事務局（企画政策課）より説明～

委員

他市での人口減少対策の成功事例は何かあるのか。

事務局

県内他市でも、移住希望者への情報発信、お試し移住体験などを実施されており、天草市では成果が上がっていると聞いている。来年度は八代市でも、定住施策について調査検討を行っていく。

委員

人口を増やすためか、農地がマンション等に変わっている。裏を返せば農業が狭められていっているのではないか。人口増加も結構だが、農業振興についてはどう考えているのか。

事務局

市民アンケートでも、農林水産業の振興についての評価が低いという結果が出ているので、総合計画後期基本計画にしっかり位置付けていきたい。

委員

若手農業経営者の育成も併せてやっていかないといけないと思うので、是非力を入れていただきたい。

委員

議員の削減率が高く、報酬・人数ともに少なくなっている。職員数も目標値1,180人を達成しているということだが、コンピュータ社会における事務効率化の中で人員削減はどこまで考えているのか。10年後の目標はどうか。

事務局

1,180人の目標は1年前倒しで達成しているが、今後もコスト削減のため

職員数は最小限に抑えていく。

ただし、後々の行政運営に支障をきたさないような職員採用を行っていかねなければならないと考えている。

委員

各支所の職員数問題等、困難なところもあると思うが、合併効果として組織改革は重要であるのではないかと考える。

事務局

(資料が届いたので職員削減計画について報告)

行財政改革大綱実施計画の中で、平成22年度までに150人削減、合併後10年までに延250人の削減を目標としている。

4. 報告事項

(1) 市民アンケートの結果について

～事務局（企画政策課）より説明～

委員

P2、3)、(4)の「働き甲斐のある」というのは個人のモチベーションの問題と思う。この設問では何を聞きたいのか。雇用の問題、就労の場の絶対数について聞きたいのか。

事務局

雇用の問題、雇用の場があるかどうかを訪ねている。

委員

P2、2)で「ずっと今いる地域で住みたい」という回答が多いが、学校に行くと学生たちも安定した生活環境を求めているようだ。今のハローワークの平均求人倍率は0.34～0.35程。企業を誘致していただき、安定して生活できる環境づくりができれば、若者も安心して八代に住めるし、税収も増えると思う。

委員

農業の担い手育成について、自分に子どもがいないので、やり手があれば全部あげます言ったこともある。跡取りを育てるだけではなく、このような考えで新規就農者を受け入れる地域の環境づくりが必要だと考えている。そうでなければ、今は農業という産業を維持すること自体が厳しい状況である

(2) 住民自治によるまちづくりの推進について

～事務局（市民活動支援課）からの説明～

※意見なし

(3) 平成24年度八代市主要事業について

～事務局（企画政策課）からの説明～

委員

笑顔 de あいさつ日本一運動推進事業、予算550万とはどのような事業か。

事務局

これまで、市民サービス向上を目指し職員向けに行ってきたあいさつ日本一運動を、今後は全市的に広げていく。さわやかな挨拶が飛び交う八代市を目指し、市役所職員だけでなく、地域・学校・企業等にも呼び掛けてあいさつ運動を展開していく。予算の内容は、活動推進のための啓発ポスター、のぼり旗の作成、市民参加型のイベント実施の費用として合計550万円としている。

委員

イベントとはどういうものか。

事務局

詳細はこれからだが、多くの市民に参加していただき、「あいさつ運動のまち八代」を発信できるような話題性のあるイベントを考えたい。

委員

重点港湾について2月に蒲島知事に質問した際、熊本港にこれまで1千億円以上つぎ込んでいます。今までの投資を無駄にしたくない。熊本市を中心にやっていきたいと話をされていた。今後、熊本県との連携と同時に、球磨・人吉・芦北・天草といった県南市町村との連携も十分に行い、荷物が八代に集まるようにしていただきたい。

また、この項目にはないが、八代天草架橋も大きな問題。年1回の大会も今後拡充していくべきだと思う。

委員

P4、「老朽危険空き家除去促進事業」とはどのような内容か。

事務局

新規事業で、国交省の事業を八代市でも実施するもの。老朽化の進んだ空家を持ち主が解体する場合に一定の要件を満たせば予算の範囲内で除去費の一部を補助する事業。

4. その他

～事務局（企画政策課）より説明～

- ・平成24年度地域審議会の開催について
- ・各地域審議会の開催状況について

※八代市立保育所等民営化計画については、地域住民の意見を踏まえ現在計画の見直し中であることを補足説明。

<会議全体を通しての質疑>

委員

H24主要事業のP4、総合防災訓練について、前年度は開催されなかったが、1年ごとに予算が組んであるのか。

事務局

総合防災訓練は1年ごとの開催になった。

委員

資料6（各地域審議会の開催状況）の説明にあったが、保育園の民営化を見直すということか。

事務局

当初の計画を現在見直しているところだが、内容については把握していない。

委員

H24主要事業（資料4）の中で、予算総額916億円とあるが、歳入の内訳は。

事務局

一般会計は、市税、地方交付税、受益者負担金、国県補助金を原資としており、不足する分を起債することで512億という一般会計予算は成立している。

特別会計は、下水道であれば下水道使用料、介護保険であれば介護保険料、国民健康保険であれば国民健康保険税といった、特定の事業目的のために特定の財源をあてて事業展開するもので、それぞれの事業で国・県の負担金を歳入として受け入れた合計が387億円となる。

企業会計は、本市の場合病院と水道事業である。診療報酬、水道料金を歳入とし、それに見合った分の事業を展開していくことになる。

委員

お金の算段はついているのか。起債しないとお金は足りないということか。

事務局

地方自治法で、お金の算段ができなければ予算化することも執行することもできないという規定があることから、予算を計上する際はその裏付けを取ってい

る。仮に裏付けが取れない場合、例えば予定していた起債が組めない場合等は、事業自体を執行してはいけないと市の会計規則でも決められている。

委員

ざっと見ると、収入は減っているが予算は増えている。起債があるからか。

事務局

予算規模としては一般会計で0.7%の増、特別会計で3.2%の増となっている。

一般会計については、確かに市税などの歳入は厳しいが、地方交付税がここ数年伸びていることもあり、その分での財源補てんが行われた。(増加分)全てが借金に振りかえられたわけではない。

特別会計は医療系が多いことから、どうしても給付費が年々増えている関係で、予算規模も増えている。